



みんなのひろば



山下みや子
(ひかりが丘)

みくりや市感謝祭に参加して

青空の澄んだ11月16日(土)、11周年を迎えた御来屋駅の売店「みくりや市」で11周年感謝祭が行われた。私は会員になって今年で2年目。自分の作った作物を売る場所があるということは、作物を作る

海幸彦・山幸彦の着ぐるみも応援に駆けつけ、売り場は活気づいてきた。後日、確かめてみると、昨年の1.5倍の売り上げだったとか。
「例年はない位、客単価(お客様が買い上げられた金額も高くなり、お客様の満足度がうかがえます)」と張り紙がしてあった。
これからも、みくりや市にきてほしい。



下嶋和子
(坊領)

私、がんばっているつもり

私は退職後、七十歳まで生活習慣病による薬は飲まない、という健康目標を立てた。
昔から医食同源(病気予防は食事の注意が最善であり、根源は食に由来すると言ふ意味)という言葉がある。先頃、年寄り仲間7〜8人で忘年会をした。会話中、少年時代よりスキーで鍛え、今尚、快活な彼は「俺はまだ薬は何も飲んでない」と言う。

「ひえ〜」と思った。彼は私より十歳年上、今年で八十歳になられる彼の言葉を聞き、私は第二の健康目標を「薬不要を八十歳まで延長」と改めた。
私は病気にならないようがんばっているつもりだが、一方、この度夫の後期高齢者保険料が加算になった。「なんでえー健康保持に努力している者は少しくらい還元してくれたいじゃないの」と思ふ此の頃である。



圓田章三
(林之峯)

山陰道が開通して

昨年末に名和、赤碓間の山陰道が開通し、出雲から鳥取までが一気に直通して、いよいよ鳥取県にも「大自動車道時代」が到来した。
これによる利便性の増大はいまさら言うまでもないが、ただ忘れてならないのは、それによって泣くものもあること。道路周辺の木々は命を奪われ、動物はすみかを追われ、朝鮮半島の分断のように生き別れも。また大きく報道されたナラ枯れの一因にも、私たちが豊かになればなるほど、

環境が劣化してゆくというジレンマ。今では進歩、開発、効率化が善とは言えない時代になってきている。特に地方では...。
これからの時代を展望するとき、大切なのは「地方にあるゆつたりとした時間」であり、最大の財産になる。そうした時間の中で、あらゆる命を丁寧にはぐくむこと、それこそ真の「豊かさ」であることに気づくだろう。

仁王堂公園からみた雪の大山

あとがき

議会だよりはありのままに伝えるべきだと思いますが、紙面の都合で割愛や要約され、本人の思いのすべてを伝えることができません。

前号では最終日の討論で、議案7件に延べ20人、請願・陳情に7人の計27人が登壇しましたが、実際に掲載できたのはそのうちの18人です。

議会だよりでは文字数の制限があり、発言をした議員からも趣旨が伝わらないと指摘もあります。
大山チャンネルやインターネットでの配信もしています

が、一度、生の議会の雰囲気味わってみませんか。

圓岡

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

委員長 米本 隆記

委員長 圓岡 伸夫

委員長 大村 正彦

委員長 大原 広巳

委員長 加藤 紀之

議会だよりのご感想をお寄せください!